



事業者講習 熊本で開く

信書便協会

信書便事業者協会（伊東博会長）は7日、熊本市で九州ブロックの特定信書便事業者向けの講習会を開いた。信書便の専門知識を身に付け、新たなビジネスモデルによる事業拡大の可能性を探った。

総務省信書便事業課の新蔵健一郎課長補佐、九州総合通信局の松本義明信書便監理官が、信書に該当する文書の例や送達方法など、信書の定義に関するQ&A集を活用し、信書便の正しい取り扱いを解説した。

協会の笠松利紀理事（毎

ビジネスチャンスの可能性を探る九州B講習会

日軽自動車運送協同組合）、渡辺宏理事（総合警備保障）、岩之上利弘事務局長が、信書便の基本的な考え方を周知していくことで、新たなビジネスモデルが構築できることを説明した。（武原 顕）